



期待と希望を胸に抱き 入園・入学の春



4月4日、村内保育園で入園式が行われ、新たに28人の子どもたちが入園しました。

下関保育園には、26人の子どもたちが入園。保護者と一緒に笑顔いっぱい初登園の日を迎えました。年長児から「一緒に散歩に行きましょう。元気に保育園に来てください。みんなで待っています」と歓迎された新入園児。たくさんの友達に囲まれながら、楽しい保育園生活が始まっています。



下関保育園入園式



関川小学校入学式

桜の開花を間近に控えた4月6日、関川小学校で入学式が行われ、今年も34人の児童が入学しました。

式では、鈴木政信校長が、「あいさつをしつかりして、車に気をつけましょう」とがんばる1年生になるための2つの約束を話しました。その後、交通事故防止のために吉田尋良主任交通安全指導員から通学帽が贈呈されました。少し緊張気味でしたが、背筋を伸ばして話の聞ける立派な新1年生でした。



関川中学校入学式

また、この日は関川中学校で入学式が行われ、44人の新入生が入学しました。

式では、生徒会長の小田桜生さん(3年・下川口)が「みなさんが不安なく充実した学校生活を送れるようサポートします」と歓迎。新入生を代表して天木七輝さん(下関)が「夢をかなえるためにしっかりと勉強をしたい。出来るだけ早く中学校生活に慣れ、立派な関川中学校の生徒になりたい」と誓いの言葉を述べました。

クリーン作戦で心もクリーンに！ 〜村内一斉、荒川クリーン作戦〜

4月3日、この日は早朝から恒例の村内一斉クリーン作戦、荒川クリーン作戦が行われ、多くの村民が参加しました。

村内一斉クリーン作戦では、朝早くから小さい子どもからお年寄りまで参加して、ゴミ袋を片手に、集落内を歩き空き缶や空き瓶などを回収しました。

その後、9時から河川敷公園で荒川クリーン作戦が行われ、スポーツ少年団員や緑の少年団員、中学生、保護者など300人が参加しました。



▲荒川クリーン作戦で回収されたゴミ



緑の少年団員の高橋亮涼さん(5年・鍛江沢)は、「集落のゴミ拾いにも参加してきた。自分の住んでいる所がきれいになることは、気持ちがいい。普段からゴミをみつけたら拾ってきれいな村にしたい」と話していました。約1時間の活動でしたが、セメントの不法投棄や空き缶などが回収されました。

参加された皆さん、早朝からおつかれさまでした。



ひきこもりに関するシンポジウムを開催
親が楽になるってどういうこと

ＮＰＯ法人「ここスタ」(鈴木久子代表・下関)が、3月26日、村民会館大ホールで、不登校や引きこもりの子どもとの向き合い方を考える講演会・シンポジウムを開催しました。

これは、村のキラリと光る地域活性化事業として行われたもので、村内外から、教職員、福祉関係者など、約120人が参加し、熱心に勉強をしていました。

新潟青陵大学看護学部の齋藤まさ子教授が、「ひきこもりを理解しよう」と題して、当事者への聞き取り調査の結果

をもとに講演。引きこもりは、どこの家庭でも起こり得ることとで親の責任ではないと話したうえで、「親に認めてもらえらることで、自分と向き合うことが出来るようになる。伴走型の支援者となることが大切」と呼びかけました。

続いて行われたシンポジウムでは、子どもが引きこもりや不登校になった経験をもつ3人の母親が体験談を発表。当時の親としてのつらい気持ちや引きこもりから新たな自分を見つける過程などを語りました。

女性消防団員が増加！
～ 消防団辞令交付式 ～

4月3日、せきかわふれあいど〜むで消防団辞令交付式が行われました。

今年度は、新入団員49名が入団。そのうち19名が女性で、女性消防団員が総勢35名となりました。県内では、652人の女性消防団員が活動。県内消防団の女性団員が占める割合は、平均1.72%（平成27年4月1日現在）ですが、村では8.5%となり、女性の活躍が期待されます。女性団員は、第4分団女性部に所属し、災害時に消防団活動の後方支援や広報活動を行います。災害時要支援者の保護活動や避難場所の運営支援活動（炊き出し等）と重要な役割を担います。

新入団員辞令を代表受領した佐藤幸子さん（下関）は、「緊張したがうまく敬礼ができた。村のために協力したいと思って入団した。自分に出来ることをしっかりやっていきたい」と意気込みを語ってくれました。



128人の団員で元気にスタート
村スポーツ少年団入団式

平成28年度スポーツ少年団入団式が、4月3日、村民会館大ホールを会場に行われ、団員や保護者など約150人が参加しました。

式では、八幡良市本部長（ハッ口）が「少子化に伴う中学校部活動の種目減少などがありますが、スポ少でがんばったことが中学校で花開くことを期待します」と挨拶。

また、団員を代表して、柔道教室キャプテンの高橋直弘くん（6年・上土沢）が「スポーツを通じて、みんな仲良く、元気よくやることを目標に活動します。時にはつらく、苦しい時があったとしても、お互い励ましあい、協力しながら一生懸命練習して、入団してよかったと思えるように最後までやりぬきます」と誓いの言葉を述べました。

今年度は新たにズンバキッズの種目が加わり、7種目となりました。総勢128人の子どもたちが夢に向かって元気いっぱい活動しています。